

令和4年度 第4回 委員部会運営委員会(定例会)議事録(案)

日 時：令和4年 7月28日(木) 午後2時～

会 場：国分寺市本多公民館 2階 講座室

出席市：国分寺市(田中)、国立市(野口)、西東京市(西原)、福生市(渡部)、狛江市(内海)、
東大和市(新井)、昭島市(三木)、町田市(西澤)、小金井市(嵯峨山)、
小平市(鈴木)、日野市(須崎)、事務局(久保、榊)

記 録：町田市(西澤)

開 会

委員部会長挨拶(国分寺市)

- ・ 国分寺市で一学期終了寸前に学級閉鎖が出てきている。最近子どもがうつってきて、お爺ちゃんお祖母ちゃんに移す傾向、子どもは軽く終わるけど歳を取る程重くなる傾向にあるので、お互いに注意したい。

報告事項

(1) 都公連役員会(7月20日)について

* 会費の問題

収入	加入全市から会費入金済	¥ 220,000.- (一市 ¥ 20,000.- ずつ)
	東京都公民館連絡協議会から	¥ 300,000.-
支出	全国公民館連絡協議会会費	¥ 176,000.- 払い込み済
	関東甲信越公民館連絡協議会会費	¥ 30,000.- 払い込み済

(2) 関東公民館連絡協議会 研究大会 (理事会は開かれていないが、決まった内容)

期 日：令和4年10月27日(水)・28日(木)予定 対面方式は中止

オンデマンドで令和4年10月27日から令和5年3月30日まで配信

テーマ：「だから公民館、やっぱり公民館、公民館の今を学び、

明日を見つけ、地域を作る」

分科会発表：伊藤先生がやる予定

* 東京開催の研究大会 (東京大会と開催地東京の2つある理由)

全国11ブロックあるので、11年に1回は全国の公民館運営審議会の研究大会が東京に回ってくる。関東甲信越は関東甲信越で回ってくる。大体、東京都の研究大会と関東ブロックの研究大会は一緒に兼ねて合同でやる。

協議事項

(1) 令和4年度第3回委員部会(定例会)議事録 ⇒ 承認

(2) 令和4年度東京都公民館連絡協議会第1回研修会(案)について

* ポスター・チラシ ⇒ 承認

ポスターはA3カラー 各市数枚 チラシは白黒、各市で印刷・配布

* テーマ：「コロナ禍における公運審の動きと見えてきた新しい公民館のあり方」

* 内容：チラシ通り 変更なし

基調講演 (15分)

リレー発表 (10分×3 30分) 狛江市・国立市・東大和市

シンポジウム (30分) 国分寺市、狛江市、国立市、東大和市

(休憩)

グループワーク (45分) ・ グループワーク発表 (15分)

* 役割分担 来月8月の委員部会で決定 (司会、受付、写真、記録等)

* 参加者 各市4人程度 (申込書 9月22日までに事務局に提出)

* 発表市は、発表者、資料(ゲラ)、使用機器等を8月末までに事務局にメールで通知

* 研修会をホームページに掲載

(3) 東京都公民館連絡協議会研究大会 第4課題別研修について (企画委員会に報告)

・ 10月1日の都公連第1回研修会で課題として挙げたものをテーマとしたい

・ 公民館側や市民のグループ両者の頑張り・工夫はどうであったかも訴えたい

(4) 「公民館に関する調査」

* 委員部会で取りまとめて管理し、10月1日付でホームページに掲載したい

各市は、10月1日の掲載までに新しいものを(変更部分)を事務局に通知する。

(割愛しても良い部分もあるのではないかと。検討・整理する必要ある)

情報交換

* 西東京市

・ 利用者懇談会 7月1日に公運審と館長と話し合い (年2回、3月と9月に開催)

利用者側から公民館事業への質問や要望を出すなどの場としての側面もあり

公運審の活動など浸透していないことから、公運審紹介というものを作ることに

・ 「あつまれ! みんなのけいおん講座」(中高生対象 7月~3月全9回 無料)

今年で5年目、ギターとドラムとキーボード、軽音楽の知識と演奏技術を基礎から

* 福生市

- ・ 公民館から「人生 100 年時代における公民館の役割について」の諮問出される
40 年以上経過、利用者層・活動内容も変化、公民館はどうあるべきか？
答申は年度内を予定（公民館利用者にアンケートを取る予定）
- ・ 公民館運営審議会のハンドブック(第 6 版)を更新中
- ・ 管外研修候補地を策定していく これから行けるところ 8 月以降決定していく予定

* 狛江市

- ・ 公運審で昨年度の事業評価
- ・ 「夏休み子ども・中高生スペース」（昨年度に続いて夏休み中高生支援）
学習・遊びの為のフリースペース、子ども食堂、体験教室など
- ・ 「にこにこ広場」 保育室を使ってください 保育相談もします
- ・ 中央公民館改修工事 公民館の利用区分 午前・午後・夜間の 3 回を 4 回に

* 東大和市

- ・ 「夏休み☆みんなで作る遊空間」 7 月 21 日～8 月 20 日 小・中・高校生対象
19 年前から、子どもたちに夏休みの間の居場所を作ろう 各地区館 4 館でも協力

* 昭島市

- ・ 公民館開館 40 年記念事業(7 月 3 日) 7 団体が参加 学びの樹にメッセージ
- ・ 公民館利用者連絡会の総会(5 月 22 日) 公利連に入っているサークル 400 の内 28
「在り方の検討」 公利連・公運審・公民館職員、三者の連携が課題

* 町田市

- ・ 夏から秋に向けての講座募集 「市民大学 HATS」、「ことぶき大学」、「生涯学習」等

* 小金井市

- ・ 第 35 回東センターまつり（本土復帰 50 周年記念 沖縄の歴史と文化に触れる）
7 月 9 日・10 日の 2 日に渡って講座 琉球古典音楽研究会（歌と三線）など
- ・ 声を中心とした講座 声で体を整えよう ボイストレーニング 声を出して朗読
- ・ 子育て・子育て支援事業
「ひがし子ども囲碁教室」（子どもの可能性、マナー習得、異世代交流を計る）
「ひがし子ども司書養成講座」（めざせ！キッズ・ライブラリアン）
「ひがし赤ちゃん Café」（初めての子育てに役立つプログラムをそろえる）
- ・ 公民館 5 館の内、2 館が事業委託、更に 2 館が事業委託移行の方に

* 小平市

- ・ 小平市市政施行 60 周年記念式典 (10 月 1 日)
- ・ 3 つの公民館で公民館まつり、開催 (秋は 6 館で)
- ・ 公共施設のマネージメント推進計画の説明会 (公共施設の抱える課題)
公民館利用者懇談会、公民館連絡会、運営委員会で、各 2 名 月 1 で開催
- ・ (仮称) 地区交流センターを新しく設置 (公民館と地域センターとの統合)
- ・ 小平駅西口再開発で、ビル 4・5 階に図書館・公民館・市民活動センターが入る
指定管理制度導入で検討 (説明を受け質問状を市に提出、7 月 12 日に研修会)

* 日野市

- ・ 子供に特化した講座 「夏休み 小学生集まれ」
普段行っているサークル(将棋とか)に小学生が集まって、教えてもらう
- ・ 出前・出張公民館 日野自動車(企業協力)見学 (小学校 4 年生から中学生対象)
「子どもカーデザイン教室 ― 未来の車をデザインする ―」

* 国立市

- ・ 公民館運営審議会の問題
委員は 2 期 4 年が任期 3 期までやる人一人か二人 ベテランがいない
委員 14 人中、国立在住の人が少なく、市民感覚少ない 申し送りもない
- ・ 国立市の特殊事情 市の百万坪という地域が民間分譲地や大学の敷地
公民館や公園や公共トイレなど公共施設の設置難しい 市役所は南西地区に
- ・ 公民館の事情 5 館構想があったが、今 1 館しかなく、近辺の人しか使わない
公民館は市民や学生の活動から生まれた歴史がある 反対運動も活発
公民館は市民活動の砦と思っている人が多い 公運審の意見通りにくい

* 国分寺市

- ・ ジュニア サロン(夏季自習室)を設置 (18 歳まで対象)
- ・ 中庭夏祭り サポート委員からの発想から 公民館と中庭サロンの会との共催
- ・ 公運審、諮問を受ける 「人と人をつなぐ持続可能な公民館活動について」
 - ① 「幼児から若者の世代にとって身近に感じられる公民館運営について」
 - ② 「就労・子育てなどの現役世代が気軽に集える公民館運営について」
 - ③ 「すべての世代が公民館に繋がることのできる公民館運営について」各館の発表を終え、来月から検討を始め、来年の末までに答申を作り上げる